東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

# 2026 年度10月情報交換会

日時：2026 年10月28日（水）13時30分
場所：本部棟 31会議室

日頃より東北公益文科大学の事業にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
今月の情報交換会について、以下の内容で発表いたします。
当日取材や事前広報について特段のご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 【発表内容】

1 日本社会福祉教育学会第22回大会「地域共生社会の創り手を育てる～ともに、まなび、つくる～」の開催について（開催告知と当日取材のお願い） ※チラシあり

2 「荘内病院まつり まごころフェス」における茶菓販売に関するお知らせ
（開催告知と当日取材のお願い）

3 公立化・開学25周年・国際学部新設記念 第4回・第5回の講座について
（開催告知と当日取材のお願い）※チラシあり

4 東北公益文科大学公益教養プログラム FORUM21 の開催について
（開催告知と当日取材のお願い）※チラシあり
・被災したあなたを助けるお金とくらしの話―自然災害と法制度支援―
・地域課題解決×大学教育～日向地区と歩んだ15年間をふりかえる

5 第4回グローバルセミナーの開催について（開催告知と当日取材のお願い）※チラシあり

6 大学院からのお知らせ
・「知の拠点庄内」 庄内海岸の現状と再生に向けて現地見学会およびシンポジウムの開催について（開催告知と当日取材のお願い）
・オープンキャンパスの開催について（開催告知のお願い）※チラシあり

次回の情報交換会は、11月25日（水）に開催予定です。




東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

２０２６年１０月２８日
公立大学法人東北公益文科大学

# 日本社会福祉教育学会第22回大会
# 「地域共生社会の創り手を育てる～ともに、まなび、つくる～」
## （開催告知と当日取材のお願い）

この度、日本社会福祉教育学会第 22 回大会を本学で開催する運びとなりました。

1 日目は、伊藤眞知子名誉教授による基調講演「共創する人材をどう育成するか～『地域共創コーディネーター養成プログラム』の 10 年から学ぶ」やシンポジウムを通して、本学が取り組んできた学び、多様な主体と共創する社会福祉専門職養成のあり方について議論します。2 日目は、東北各地で展開されているユニークな福祉教育実践を学び、福祉を自分ごとにするための福祉教育のあり方を検討します。

つきましては、貴社媒体によるイベント情報欄掲載などによる事前の開催案内、および当日の取材につきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1　日　時

2026 年**11月14日（土）午後1時10分から午後4時55分**
**11月15日（日）午前10時から午後3時**

2　会　場　**本学　酒田キャンパス　105教室**

3　テーマ　地域共生社会の創り手を育てる～ともに、まなび、つくる～

4　登壇者　本学 伊藤眞知子名誉教授のほか、本学卒業生 2 名もシンポジストとして登壇します。

5　対　象　どなたでも

6　参加費と申込方法：★1 日目のみ山形県民（山形県内在住の方）は<u>無料</u>
⇒山形県民向け参加申込フォーム
https://forms.gle/bkLfWzf4fahKjeTE6
★2 日目もご参加の場合は下記申込サイトへ
https://gakujutsushukai.jp/jsswe2026

7　締　切　11 月 10 日（火）

8　その他　別添チラシをご覧ください。

お問い合わせ
地域福祉コース　准教授　小関久恵　（学会理事、事務局担当）
電　話：0234-41-1288　E-mail：koseki@koeki-u.ac.jp

日本社会福祉教育学会第22回大会

# 地域共生社会の創り手を育てる

ともに、まなび、つくる

山形県民の方は
1日目(11/14)
**参加費無料！**



## 11.14.土–15.日

**東北公益文科大学酒田キャンパス**
**（山形県酒田市飯森山3－5－1）**
庄内空港からリムジンバスで20分／酒田駅から市営バスで15分

### 基調講演
**「共創する人材をどう育成するか～『地域共創コーディネーター養成プログラム』の10年から」**

大学が地域の一主体となり多様な主体と協働・共創する「大学まちづくり」を進めてきた東北公益文科大学。その一環として取り組んできた「地域共創コーディネーター養成プログラム」の10年からファシリテーションやコーディネーションの力を備えた人材の育成方法や体制について学びます

### 開催校企画シンポジウム
**「地域の多様な主体と共創する社会福祉専門職の養成とその仕組みづくり」**

地域共創コーディネーター養成プログラムの実践を手がかりに、地域の多様な主体と協働する社会福祉専門職にはどのような能力が求められるのか、その能力を育成する教育や、地域との協働体制をどのように構築すべきかを考えます

### 学会企画シンポジウム
**「福祉をどう伝え、学びを創るか～福祉を『自分ごと』にするために社会福祉教育にできること～」**

東北各地（山形県酒田市、秋田県湯沢市、岩手県洋野町）で、多様な主体により展開されている「福祉を自分ごと」にするユニークな福祉教育プログラムの実践を学び、今後の社会福祉教育のあり方を考えます

**▶参加申込締切**
**11月10日(火)**

▼山形県民向け【1日目(11/14)限定】
専用申し込みフォーム　※無料

▼一般向け（左記以外）
申し込みサイト（学術集会JP）





主催：日本社会福祉教育学会
後援（予定）：日本ソーシャルワーカー協会、山形県社会福祉士会、
山形県精神保健福祉士協会、山形県医療ソーシャルワーカー協会

## ▶1日目（11月14日）

| | |
|---|---|
| 13:10-13:20 | 開会 |
| 13:20-14:35 | 基調講演<br>「共創する人材をどう育成するか～『地域共創コーディネーター養成プログラム』の10年から～」（仮）<br>東北公益文科大学 名誉教授　伊藤 眞知子 氏 |
| 14:45-16:55 | 開催校企画シンポジウム「地域の多様な主体と共創する社会福祉専門職の養成とその仕組みづくり」（仮）<br>シンポジスト：<br>●西川 ハンナ 氏（創価大学、学会理事）<br>「地域共創を支える社会福祉専門職とファシリテーション・コーディネーション」（仮）<br>●斉藤 友香 氏（鶴岡市役所、地域共創コーディネーター養成プログラム運営委員会委員）<br>●佐藤 美恵 氏（特定非営利活動法人ぼらんたす、地域共創コーディネーター養成プログラム運営委員会委員）「共創の力を備えた人材を育てる仕組みづくり<br>～地域共創コーディネーター養成プログラム運営委員会の役割から」（仮）<br>●深井 雄樹 氏（酒田市社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカー、社会福祉士）<br>「現場で求められる共創の力とその育成について～卒業生の立場から」（仮）<br>コーディネーター：小関 久恵 氏（東北公益文科大学、学会理事） |
| 17:30-19:00 | 情報交換会（東北公益文科大学カフェテリア） |

## ▶2日目（11月15日）

| | |
|---|---|
| 9:40 | 受付 |
| 10:00-12:10 | 学会企画シンポジウム「福祉をどう伝え、学びを創るか<br>～福祉を『自分ごと』にするために社会福祉教育にできること～」（仮）<br>シンポジスト：<br>●村岡 夢月 氏（酒田市役所）<br>「RJ（Restorative Justice；修復的対話）サークル」（子どもの意見表明）<br>（山形県酒田市。酒田市教育委員会×多機能福祉施設こもれび×東北公益文科大学及び大学院スクールソーシャルワーク教育課程×市内小学校）<br>●佐々木 身佳 氏（湯沢市社会福祉協議会）<br>「孤高の戦士サポーター養成講座」（秋田県湯沢市。湯沢市社会福祉協議会×市内高校）<br>●野田 大介 氏（特別養護老人ホーム久慈平荘）<br>「福祉発見プロジェクト、ひろの学ほか」（岩手県洋野町。社会福祉法人みちのく大寿会×市内小中高校）<br>コーディネーター：工藤 英明 氏（青森県立保健大学、学会理事） |
| 12:10-13:20 | 昼食休憩 |
| | 12:20～13:00 総会 |
| 13:20-13:55 | 教育実践報告　※地域や福祉現場と連携・協働する教育実践のポスター発表・情報交換 |
| 14:00-15:00 | 自由研究発表 |

### 参加申込方法／参加費について

☞**参加方法**：必ず「事前の参加登録」と「参加費のオンライン決済」をお願いします
（詳細は、表面のQRコードから学会HPにアクセスしてご確認ください。参加費を振込等でお支払いされる場合は、事前の参加登録後に学会事務局までご連絡ください。

**【全日参加】一般A(会員・非会員)8,000円／一般B※(非会員で職能団体)4,000円／学生・大学院生2,000円**
**【１日参加】一般A(会員・非会員)4,000円／一般B※(非会員で職能団体)2,000円／学生・大学院生1,000円**

※一般B の区分に該当する団体は、日本社会福祉士会（JACSW）、日本精神保健福祉士協会（JAPSW）、日本医療ソーシャルワーカー協会（JASWHS）、日本ソーシャルワーカー協会（JASW）です

☞**山形県民の皆様へ**：1日目（11/14）のみ参加は無料ですが、「事前の参加登録」を必ずお済ませのうえご参加ください。表面のQRコードから学会HPにアクセスして事前登録方法をご確認ください。

お問い合わせ先：info@jsswe.org（学会事務局）

東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

Press Release

2026 年 10 月 28 日
東北公益文科大学

# 本学学生による「荘内病院まつり まごころフェス」における茶菓販売に関するお知らせ（事前告知のお知らせと当日取材の依頼）

この度、11 月 1 日に開催される「荘内病院まつり まごころフェス」において、みつわ会が運営する「のぞみカフェ nanairo」のブースの一角をお借りして、本学公認サークル「スタートアップ&クリエーション」のメンバー3 名が考案した茶菓を販売致します。おもに、酒田米菓が製造した団子生地をベースに、山形県立庄内農業出身学生が中心となって起案した 4 つのテイストを用意します。また、地元鶴岡産の原材料を多数使用し、うちサツマイモはみつわ会の畑で収穫されたいわゆる「農福連携産品」です。

これまでの学びを実践的な活動につなげ、学生ならではの庄内・鶴岡らしさを形にした商品を地域の皆さまにお届けします。

**★ ポイント**

1. みつわ会の畑で育てられた無農薬サツマイモ使用（農福連携産品）
2. 庄内農業高校出身者が中心となって考えた「地産地消団子」
3. 庄内柿とチョコを合わせた新茶菓で新たな需要を生み出す

記

日　時：2026 年 11 月 1 日（日）10:00～14:00
会　場：鶴岡市立荘内病院 9 階（みつわ会ブース内）　鶴岡市泉町 4-20
商品名：「んめぇだんご」（庄内柿、おさつ、しそまき、だだちゃ）各 50 本用意
販売価格:1 本 150 円
担　当：全体統括 松浦沙和（3 年：広崎ゼミ・鶴岡北高校（現：致道館高校）卒）
　　当日責任者 鈴木楓佳（1 年：澤邉ゼミ（基礎演習）・天童高校卒）
　　商品企画 金丸歓絆（1 年：澤邉ゼミ（基礎演習）・庄内農業高校卒）
指導者：佐藤佑樹（みつわ会 理事・事業統括本部長）
　　小林真里（みつわ会 統括管理部長）

問い合わせ先　経済・経営コース　広崎心
産学連携部会長 / 地域産業活性化研究所長
電　話：０９０―３３１２―４４５８
Email：hirosaki@koeki-u.ac.jp

PRESS RELEASE プレスリリース

東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

２０２６年１０月２８日
公立大学法人東北公益文科大学

# “公立化・開学25周年・国際学部新設記念”
# 第4回・第5回連続講座の開催について
## （開催告知と当日取材のお願い）

今年度、本学では、開学 25 周年・公立化・国際学部新設を記念した連続講座を開催しておりますが、この度、下記の講座を開催する運びとなりました。

つきましては、貴社媒体によるイベント情報欄掲載などによる事前の開催案内及び当日の取材につきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

## ○第４回目

１　日　時　　2026 年**11月20日（金）午後3時から午後5時20分**

２　場　所　　**本学　酒田キャンパス　中研修室1**

３　講　師　　小林　剛也　氏
（財務省大臣官房秘書課財務官室長、東北公益文科大学客員研究員、
元山形県総務部長）

４　テーマ　　講演　『起業マインドが拓く、やまがた・庄内の未来
公立化から考える「令和の公益学」』

５　参加費　　無料

６　対　象　　どなたでも（定員 100 名）

７　申込方法　申込フォームにてお申込みください（https://x.gd/N3Jlu）
（大学ホームページからアクセスできます。）

８　申込〆切　11 月 17 日（火）

９　その他　　・別紙のチラシをご覧ください。
・講演のほか、本学で開講している「起業マインド育成講座」の中間成果報告や関係者によるパネルディスカッションも開催します。

○第５回目

１　日　時　　2026 年**11月28日(土)午後2時から午後4時**

２　場　所　　**本学　鶴岡キャンパス　大学院ホール**

３　講　師　　菅原　克也氏※遊佐町出身

（東京大学名誉教授・武蔵野大学名誉教授・日本比較文学会会長）

４　テーマ　　講演　「AI の時代に外国語学習は必要か？

～みずから外国語を学ぶ意味を考える～」

５　参加費　　無料

６　対　象　　どなたでも（定員 80 名）

７　申込方法　申込フォームにてお申込みください（https://x.gd/N3Jlu）

（大学ホームページからアクセスできます。）

８　申込〆切　11 月 20 日（金）

９　その他　　別紙のチラシをご覧ください。

（お問い合わせ）
法人企画課　TEL：0234－41－1119　E-Mail：spf@koeki-u.ac.jp

東北公益文科大学　公立化・開学25周年・国際学部新設記念連続講座

FORUM21
東北公益文科大学
公益教養プログラム




# 起業マインドが拓く、やまがた・庄内の未来
# 公立化から考える「令和の公益学」

参加費 無料

## 令和8年11月20日(金) 15:00～17:20 (開場14:30)
## 酒田市公益研修センター　中研修室1

**基調講演**　起レ業研究所の3年間を振り返って『令和の公益学、再始動』



**小林 剛也（こばやし ごうや） 氏（財務省 大臣官房秘書課　財務官室長、東北公益文科大学客員研究員、元山形県総務部長）**

2003年、財務省入省。主税局、理財局、主計局、大臣官房などで勤務。ドイツ留学、欧州復興開発銀行（ロンドン）、在ドイツ日本国大使館での勤務を経て、2020年7月、山形県みらい企画創造部長に就任し、DXや移住促進策、地域公共交通政策、ベンチャー施設の整備等に携わる。22年4月から県総務部長として、東北公益文科大学の公立化促進及び起レ業研究所の設立に携わる。公務のほか、縄文アーティストとして、絵画、彫刻、陶芸等の作品作りや、地域の工芸等とのコラボを進めている。

**起業マインド育成講座　中間成果報告**

**パネルディスカッション**　起業マインドが拓く、大学教育とやまがた・庄内の未来

〔コーディネーター〕 小林 剛也　氏
〔パネリスト〕 ANA客室乗務員 西村 里帆　氏
合同会社セン企画事務所　泉 虎吉　氏
山形県産業技術イノベーション課　鈴木 崇史　氏
東北公益文科大学　神田　直弥　学長

お申込み お問合せ

11月17日(火)までに、申込みフォームからお申込みください。
〔お申込みURL〕 https://x.gd/N3Jlu
東北公益文科大学 法人企画課　TEL：0234-41-1119

申込みフォーム

主催：東北公益文科大学　後援：庄内開発協議会・東北公益文科大学後援会

東北公益文科大学　公立化・開学25周年・国際学部新設記念連続講座

FORUM21 東北公益文科大学 公益教養プログラム



# AIの時代に外国語学習は必要か？

## ～みずから外国語を学ぶ意味を考える～

参加費 無料



ＡＩ等で自動翻訳（機械翻訳）が可能となった時代に、**何を苦労して外国語など学ぶ必要**があるのか？
そのような問いを立てたとき、**何が答え**となるだろうか。
**「ことば」というものの性質**について、庄内にゆかりのある講師を招き、私たちが普段使っている庄内弁などの日本語の例もまじえて**考えてみたい**と思います。

**令和8年11月28日（土）14:00～16:00（開場13:30）**

**東北公益文科大学　鶴岡キャンパス　大学院ホール**

定員 80名（先着）

### 講演テーマ及び講師

〔テーマ〕 **AIの時代に外国語学習は必要か？**
**～みずから外国語を学ぶ意味を考える～**

〔講　師〕 **菅原（すがわら）　克也（かつや）** 氏（東京大学名誉教授・武蔵野大学名誉教授・日本比較文学会会長）

### プロフィール

山形県飽海郡遊佐町に生まれる。山形県立鶴岡南高等学校卒業。東京大学文学部卒業。東京大学大学院人文科学研究科比較文学比較文化専門課程博士課程中退。
山形大学講師、東京工業大学助教授、東京大学教授、武蔵野大学教授を経て、現在は東北公益文科大学非常勤講師。日本比較文学会会長。
専門は比較文学比較文化。著書に『英語と日本語のあいだ』『小説のしくみ』『読むためのレッスン』、訳書に『オリンピックと近代』『ダブル／ダブル』『冬かぞえ』他。

### お申込み お問合せ

**11月20日（金）までに、申込みフォームからお申込みください。**
〔お申込みURL〕 https://x.gd/N3Jlu
東北公益文科大学 法人企画課　TEL：0234-41-1119

申込みフォーム

主催：東北公益文科大学　後援：庄内開発協議会・東北公益文科大学後援会




東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

２０２６年１０月２８日
公立大学法人東北公益文科大学

# FORUM21「東北公益文科大学教養プログラム」の開催について
# （開催告知と当日取材のお願い）

この度、東北公益文科大学公益教養プログラムを開催する運びとなりました。
つきましては、貴広報媒体のイベント情報欄掲載などによる事前の開催告知及び当日の取材につきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

○１件目

１　日　時　2026 年**１１月１４日（土）午後２時から午後４時**
２　会　場　**酒田市公益研修センター　中研修室２**
３　テーマ　被災したあなたを助けるお金とくらしの話―自然災害と法制度支援―
４　内　容　大きな災害で被災するとはどういうことなのか、被災者の「リーガル・ニーズ」の視点から災害の実態を浮き彫りにし、生活再建のための「知識の備え」を学びます。
５　登壇者　〔講師〕銀座パートナーズ法律事務所 岡本　正 氏
〔モデレーター〕本学 松岡　勝実 教授
６　参加費　無料
７　対　象　どなたでも（定員 50 名）
８　申込方法
申込フォーム（https://forms.gle/7vV9mAetQFWagPVY7）にて
お申し込みください（大学ホームページからも申込可能）。
※E-mail の場合は①氏名(ふりがな)②電話番号③メールアドレス
をお知らせください。
９　締　切　11 月 12 日（木）
１０　その他　別紙のチラシをご覧ください。

○２件目

１　日　時　2026 年**11月24日(火)**
**午後6時30分から午後8時**

２　会　場　**酒田市公益研修センター　中研修室１**

３　テーマ　地域課題解決×大学教育～日向地区と歩んだ15年間をふりかえる～

４　内　容　酒田市日向地区をフィールドに展開してきた大学教育プログラムと、交流の過程で生まれた学生と地域のつながり、地域課題解決に向けた動き等を、15 年間をともに歩んできた本学教員とコミュニティ振興会職員による対談形式で振り返り、今後の展望などをご紹介します。

５　登壇者　・本学 小関久恵 准教授（地域福祉コース）
・日向コミュニティ振興会 事務局長 工藤志保 氏

６　参加費　無料

７　対　象　どなたでも（定員 50 名）

８　申込方法
申込フォーム（https://forms.gle/b7ta5Kmxa6EophZj8）にて
お申し込みください（大学ホームページからも申込可能)。
※E-mail の場合は①氏名(ふりがな)②電話番号③メールアドレス
をお知らせください。

９　締　切　11 月 21 日（土）

１０　その他　別紙のチラシをご覧ください。

お問い合わせ
東北公益文科大学 地域共創センター
TEL 0234-41-1115　FAX 0234-31-2082　E-mail kyoso@koeki-u.ac.jp

FORUM21
東北公益文科大学
公益教養プログラム

# 被災したあなたを助ける お金とくらしの話
## ―自然災害と法制度支援―

大きな災害で被災するとはどういうことなのでしょうか？ 被災者の「リーガル・ニーズ」の視点から災害の実態を浮き彫りにし、生活再建のための「知識の備え」を学びます。法律は災害時にあなたを助けてくれる心強い味方です。



**2026年11月14日(土) 14:00～16:00**



場　所：酒田市公益研修センター　中研修室２

参加費：無料　　定　員：50名

対　象：どなたでも



〔講　師〕

**岡本　正　氏**　銀座パートナーズ法律事務所 弁護士・博士（法学）・気象予報士

2001年慶應義塾大学卒業。2003年弁護士登録。岩手大学・新潟大学・武蔵野大学の客員教授。東日本大震災時の内閣府出向や日弁連での復興政策関与をきっかけに「災害復興法学」を創設。慶應義塾大学等で「災害復興法学」講座を展開。災害研究・政策提言・防災教育活動に従事。著書に『被災したあなたを助けるお金とくらしの話 増補版』『災害復興法学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』等。国や自治体の委員も多数務める。






〔モデレーター〕

**松岡　勝実　教授**　東北公益文科大学 公益学部 政策コース

専門：民事法学/災害・危機管理制度論
創価大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（法学）。英国ケンブリッジ大学、米国ハーバード大学研究員、岩手大学教授等を経て、2026年4月より現職。宅地建物取引士の国家資格を有する。

**お申込み**

11月12日(木)までに、申込みフォームまたはE-mailにてお申込みください。
URL：https://forms.gle/7vV9mAetQFWagPVY7

〈メールで申込みされる方〉
お問合せのアドレスまで、1.氏名（ふりがな） 2.電話番号 3.メールアドレス をお知らせください。件名に「11/14 FORUM21申し込み」と入力してください。

申込みフォーム

**お申込み、お問合せ先**

東北公益文科大学　地域共創センター　山形県酒田市飯森山3-5-1
TEL：0234-41-1115　　MAIL：kyoso@koeki-u.ac.jp



令和8年度公益のふるさとづくり推進活動受託事業（庄内開発協議会）

FORUM21
東北公益文科大学
公益教養プログラム

2025年度「東北公益文科大学ベストティーチャー」受賞者による講演
（本学では、教育実践に顕著な成果をあげた教員を表彰する独自の制度を設けています）




# 地域課題解決 × 大学教育

## ～日向地区と歩んだ15年間をふりかえる～

【講演概要】
酒田市日向地区をフィールドに展開してきた大学教育プログラムと、そこから生まれた学生と地域のつながり、地域課題解決に向けた動き等について、15年間をともに歩んできた本学教員とコミュニティ振興会職員による対談形式でふりかえり、今後の展望についてお話しします。

**2026年11月24日(火) 18:30～20:00**

**場 所：酒田市公益研修センター 中研修室１**

**参加費：無料**　　**定 員：50名**　　**対 象：どなたでも**

2025年度「東北公益文科大学ベストティーチャー」



### 小関　久恵 准教授

北海道医療大学大学院看護福祉学研究科臨床福祉学専攻修士課程修了。修士（臨床福祉学）。
2006年4月より本学着任。助教、講師を経て2021年4月より現職。社会福祉士、精神保健福祉士の国家資格を有する。
日本社会福祉教育学会、日本社会福祉学会、大学教育学会所属。

日向コミュニティ振興会　事務局長



### 工藤　志保 氏

酒田市出身。専業主婦として子育てに専念している中、社会と繋がること、関わることと大切さを感じ、日向コミュニティ振興会に勤務。日向地区の賑わい創出や地域支え合い活動に取り組んでいる。

**お申込み**

11月21日(土)までに、申込みフォームまたはE-mailにてお申込みください。
URL：https://forms.gle/b7ta5Kmxa6EophZj8
〈メールで申込みされる方〉
お問合せのアドレスまで、1.氏名（ふりがな） 2.電話番号 3.メールアドレス をお知らせください。件名に「11/24 FORUM21申し込み」と入力してください。

**お申込みフォーム**

**お問合せ先**

東北公益文科大学　地域共創センター　山形県酒田市飯森山3-5-1
TEL：0234-41-1115　　MAIL：kyoso@koeki-u.ac.jp

令和8年度公益のふるさとづくり推進活動受託事業（庄内開発協議会）




東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

２０２６年１０月２８日
公立大学法人東北公益文科大学

# “国際学部新設記念”
# 第４回グローバルセミナーの開催について
## （開催告知と当日取材のお願い）

この度、本学国際学部主催による第４回グローバルセミナーを下記のとおり開催いたします。

本学の横田浩一准教授を講師に、中国をフィールドに、地域文化の成り立ちと人の移動、文化の越境について考えます。

つきましては、貴社媒体によるイベント情報欄掲載などによる事前の開催案内及び当日の取材につきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

１　日　時　2026 年**１１月１８日（水）**
**午後６時３０分から午後８時**

２　会　場　**本学　新世紀館 3 階（Cafeteria の３F）サルク**

３　講　師　本学　国際学部　横田浩一准教授

４　テーマ　中国における人の移動と文化の越境

５　参加費　無料

６　対　象　どなたでも（定員 40 名）

７　申込方法　申込フォーム　https://forms.gle/BwVP4QhWaYbzHhUbA　より
お申込みください（本学ホームページからアクセスできます）

７　締　切　11 月 16 日（月）

８　その他　別紙チラシをご覧ください。

お問い合わせ
教務学生課　TEL：0234－41－1116
メール：salc@koeki-u.ac.jp

東北公益文科大学

2026 年度　東北公益文科大学国際学部主催　Global Seminar

第 4 回

# 中国における人の移動と文化の越境

ー広東省潮州地域を中心にー




中国南部の広東省潮州地域では、古くから地域を越えた人の移動が盛んで、東南アジア等に移住者を多く輩出した地域の一つです。今回のセミナーでは、この地域でフィールドワーク（現地調査）を行なった私の経験から地域文化の成り立ちと人の移動や文化の越境について考察したいと思います。

## 講師：東北公益文科大学　国際学部　横田 浩一　准教授

＜プロフィール＞



・神奈川県平塚市出身。首都大学東京大学院人文科学研究科社会行動学専攻博士後期課程修了（博士：社会人類学）。

・博士課程休学中に中国福建省の厦門大学に留学。その後、広東省の大学に籍を置きながらフィールドワークを行った。帰国後、人間文化研究機構で「グローバル地域研究推進事業」研究員として研究活動に従事し、2026 年 4 月より現職。

・研究領域：文化人類学、現代中国社会研究、華僑華人研究。

・近年の研究テーマ：潮州系華人の移動と越境

**日時：11 月 18 日（水）18:30～20:00**
**会場：東北公益文科大学新世紀館 3 階（Cafeteria の 3F サルク）**
**対象：どなたでも　　（定員　先着 40 名程度）**
**参加費：無料**

■お申込み■

11 月 16 日（月）までに、申し込みフォームにてお申し込みください。

URL: https://forms.gle/N6kcfmXWQjHXxGU88

申込フォーム

■お問合せ■

東北公益文科大学 SALC　グローバルセミナー担当
E-mail : salc@koeki-u.ac.jp

東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science




２０２６年１０月２８日
公立大学法人 東北公益文科大学

# 「知の拠点庄内」庄内海岸の現状と再生に向けて 現地見学会およびシンポジウムの開催について

## （当日取材および開催告知のお願い）

この度、鶴岡市内の４つの高等教育機関（山形大学・慶應義塾・鶴岡工業高等専門学校・公益大）により構成される「知の拠点庄内」では、令和８年度の事業として、「庄内海岸の現状と再生に向けて」をテーマに、庄内海岸を学生が見学する「現地見学会」と、関係者との「シンポジウム」を開催する運びとなりました。

つきましては、当日取材およびシンポジウムの開催告知につきまして、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

**★ ポイント**

- 庄内海岸林のクロマツが松枯れ病によりほぼ全滅しています。強風から庄内の暮らし、生産活動を守る海岸林の消失は一大事です。
- 「知の拠点庄内」を構成する団体の学生が庄内海岸を見学します。
- シンポジウムでは、**学生が見学の内容を報告・今後の提案**を、**教員が専門分野の知見を基に話題提供**を行うとともに、教員と学生によるパネルディスカッションを行います（どなたでも参加可能）。

記

## ○現地見学会

１　日　　時　2026 年**１１月１日（日）午後１時から午後３時**

２　会　　場　庄内海岸（鶴岡市 七窪国有林～酒田市 十里塚）

３　参 加 者　山形大学・慶應義塾・鶴岡工業高等専門学校・公益大の学生・教職員 30 名程度　※学生のみの参加

４　内　　容　クロマツの松枯れおよび海洋ゴミの状況を見学（教員の解説あり）

○シンポジウム

1　日　　時　2026 年**12月5日(土)午後2時から午後4時30分**

2　会　　場　**本学 鶴岡キャンパス 大学院ホール**

3　内　　容　「庄内海岸の現状と再生に向けて」

①現地見学をした学生による報告・今後の提案

②教員による話題提供（20 分×3 名）

③パネルディスカッション（教員＋学生）

4　参加申込・定員など

本学ホームページよりお申込みください

定員 100 名（来場 50 名・オンライン 50 名。11/30〆切）

お問い合わせ
大学院事務室（鶴岡キャンパス）
電　話　0235－29－0555　　メール　gs@koeki-u.ac.jp

PRESS RELEASE プレスリリース

東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

２０２６年１０月２８日
公立大学法人 東北公益文科大学

# 東北公益文科大学大学院
# オープンキャンパスの開催について
## （開催告知のお願い）

この度、地域の方々に本学大学院を知っていただく機会として、オープンキャンパスを下記のとおり開催することといたしました。

大学院では、多様な分野の研究が行えるとともに、リカレント・リスキリングに活用いただける制度も設けています。

つきましては、貴媒体による事前の開催案内について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

**★ ポイント**
- **「オンライン参加」と「来場参加」を選ぶことができます。**
- **大学院生の研究や生活について、院生本人が紹介します。**
- **教員と大学院生との座談会を通して、大学院での学びをより深く知ることができます。**

記

1　日　　時　2026 年**12月5日（土）**
**午前10時から午前11時30分**

2　会　　場　**本学 鶴岡キャンパス 大学院ホール**
または Zoom によるオンライン参加

3　内　　容　研究科説明、ゼミ紹介・院生生活紹介、制度案内、個別相談
院生・教員との座談会　など

4　参 加 費　無料

5　申込方法　大学院ホームページからお申込みください

6　締　　切　11 月 30 日（月）

7　そ の 他　別紙チラシをご覧ください

お問い合わせ
大学院事務室（鶴岡キャンパス）
電　話　0235－29－0555　メール　gs@koeki-u.ac.jp



10月20日（火）時点案

「学」と「社会」を結びつけ、公益社会を実現する

# 公益大 大学院

# OPEN CAMPUS

公共経営領域　国際関係領域　情報科学領域　地域共創領域　スクールソーシャルワーク教育課程

学部卒業後に専門性・汎用的スキルを高める
社会人のリカレント・キャリアアップ
現場の課題解決につなげる

## 2026年12月5日（土）
## 10時00分～11時30分
## 鶴岡キャンパス または オンライン（Zoom）

公益大の学部生についてはキャンパス間シャトル便を利用できます（詳しくはお問い合わせください）

## 内容（予定）

**研究科紹介、ゼミ・院生生活紹介、制度案内、座談会、個別相談**

社会人学生が入学・研究テーマ決定の経緯や研究・ゼミの様子、1週間のスケジュール等を紹介！

お問い合わせ
東北公益文科大学 大学院事務室（鶴岡キャンパス）
電話 0235-29-0555　メール gs@koeki-u.ac.jp

お申し込み
大学院ホームページを経由してお申し込みください　締切11月30日（月）

https://www.koeki-u.ac.jp/site/academics-gs/